

このページは毎月1日から7日までの間に更新しています

シリーズ職業紹介(しょくぎょうしょうかい)！第九弾(だいきゅうだん)！！

みなさん将来(しょうらい)何(なに)になりたいのか考(かんが)えたことがありますか？この世界(せかい)には本当(ほんとう)にたくさんのお仕事(しごと)があります。みなさんはどのくらいお仕事(しごと)について知(し)っているでしょうか？ここではいろいろなお仕事(しごと)について説明(せつめい)していきます。

職業紹介(しょくぎょうしょうかい)第九弾(だいきゅうだん)は、医師(いし)についてです。医師(いし)というのはお医者(いしゃ)さんのこと。人(ひと)の命(いのち)や健康(けんこう)にかかわる重要(じゅうよう)な仕事(しごと)です。そのために、中学(ちゅうがく)・高校(こうこう)を卒業(そつぎょう)したあと、医大(いだい)か医学部(いがくぶ)のある大学(だいがく)で医師(いし)になるための専門(せんもん)の勉強(べんきょう)をします。そのあと、さらに医師国家試験(いしこっかしけん)に合格(ごうかく)して、国(くに)が決(き)めた資格(しかく)を取(と)らなければ医師(いし)にはなれません。

また、ひとくちに医師(いし)といっても、心(しん)ぞう、骨(ほね)、おなか、脳(のう)、ひふ、目(め)や鼻(はな)、そして心(こころ)や気持(きもち)の病気(びょうき)をなおす医師(いし)まで、それぞれに専門(せんもん)が分(わ)かれています。また、医師(いし)になってからも、新(あたらしい)治療法(ちりょうほう)や病気(びょうき)についての勉強(べんきょう)をずっと続(つづ)けていかなければなりません。

むずかしい、大切(たいせつ)な仕事(しごと)であるだけに、医師(いし)は世(よ)の中(なか)の人(ひと)たちから信用(しんよう)もされ、尊敬(そんけい)されることも多(おお)いのです。でも、まちがった治療(ちりょう)をしてしまったり、それを隠(かく)そうしたりといった、人々(ひとびと)の信頼(しんらい)をうらぎるようなことする医師(いし)もときどきいます。人(ひと)の命(いのち)や健康(けんこう)をあずかる大切(たいせつ)な仕事(しごと)だという自覚(じかく)をいつも持(も)っていることが必要(ひつよう)な職業(しょくぎょう)です。

人(ひと)の命(いのち)や健康(けんこう)を守(まも)るという使命感(しめいかん)と、大変(たいへん)でも勉強(べんきょう)をし続(つづ)ける覚悟(かくご)のある人(ひと)は、医師(いし)を目指(めざ)してみてもはどうでしょうか。

2005年4月小学生